

十月

第415回みそか寄席

令和8年

とき 10月31日(土)

第1部：午後4時00分～

第2部：午後7時00分～

ところ おかげ横丁すし久

一部午後四時～

二部午後七時～

みそか寄席

伊勢内宮前

おかげ横丁



大

大喜利

大喜利

桂文我

桂文我

武助芝居

饅頭怖い

旭堂南海

旭堂南海

黄門と淀辰

名月松坂城

桂小文三

桂小文三

四人癖

転失気

木戸銭／前売券 2,500円 当日券 3,000円

会場受付は、1部2部共に開演30分前より開始いたします。

予約受付／おかげ横丁おみやげや (総合案内)

TEL 0596-23-8838

木戸銭は開催当日の会場受付にて頂戴いたします。

お問合せ／(株)伊勢福 催事運営部

TEL 0596-23-8827

前売販売／・チケットぴあ

・イオン伊勢店、イオン明和店 サービスカウンター

主催/株式会社 伊勢福 後援/伊勢市、伊勢市教育委員会

※会の性質上、中学生未満の方の入場はご遠慮いただいております。予めご了承ください。

※都合により内容が変更になる場合がございます。

※お車で越しのお客様は近隣の有料駐車場をご利用ください。



おかげ横丁HP

みそか寄席



平成3年6月から始まった「みそか寄席」は、毎月末日のみそかに合わせて「すし久」にて開催している落語会。約35年間公演し、地元松阪出身 上方落語の桂文我さんを中心に、中堅・若手の噺家が多数出演しています。

本格的な古典落語や奇想天外な新作落語、ときには珍芸も飛び出し、会場は明るい笑い声で包まれます。

これまでの特別興行では、人間国宝桂米朝師をはじめ、三代目桂春團治師・五代目桂文枝師・桂枝雀師にご出演いただきました。

会場の「すし久」は、本格木造建築で、古き良き時代の寄席情緒たっぷりの中で楽しみ頂けます。

桂 文我 かつら ぶんが



昭和35年8月15日生まれ、三重県松阪市出身。昭和54年3月、桂枝雀に入門。桂雀司を名乗る。平成7年2月、四代目桂文我を襲名。

【落語活動】

現在、年間300回程の落語の高座をつとめる。大阪・東京・横浜・名古屋・京都・岡山・徳島をはじめ、各地で「桂文我独演会」「桂文我の会」を開催。また、子ども向きの落語会の「おやこ寄席」も各地で開催。

【その他の活動】

みえの国観光大使、松阪市ブランド大使。兵庫県揖保郡太子町ふるさと親善大使。平成25年4月1日～相愛大学客員教授「上方落語論」講義を受け持つ。令和3年～、東海テレビ番組審議委員。令和6年～、佛教大学オーブニングラーニングセンター講師。

旭堂 南海 きょくどう なんかい



生年月日：昭和39年4月20日
出身地：兵庫県加古川市
入門年月日：平成元年2月「三代目旭堂南陵」
趣味：物を覚えること
特技：物を忘れること

桂 小文三 かつら こぶんざ



生年月日：平成3年11月18日
出身地：大阪府東大阪市
入門年月日：平成30年4月1日「桂文三」
趣味：筋トレ
特技：野球(高校野球大阪大会 準優勝)、英会話(TOEIC780点)

みそか寄席四百回記念公演グッズ販売中！

みそか寄席は、令和7年7月をもちまして400回公演を達成いたしました。記念公演にご出演いただいた演者さんの千社札や、みそか寄席の会場「すし久」の昼夜をそれぞれイメージしたクリアファイル、ここでしか手に入らないオリジナルグッズです。



おかげ横丁について

おかげ横丁は、入口にある大きな常夜燈が目印の50余りのお店が軒を連ねるひとつの町です。

第61回神宮式年遷宮の年、1993年(平成5年)7月16日に、伊勢神宮内宮の鳥居前「おはらい町」の中ほどにできました。

季節ごとの催し、伊勢路の建物の意匠と風景、こだわって選び抜いた特産品や伊勢土産、郷土料理、紙芝居や太鼓の演奏など、訪れる人に楽しんで頂いております。

